

会 議 録

会議の名称	茨木市中心市街地活性化協議会
開催日時	平成 30 年 5 月 14 日(水曜日) 開始 14:45 ～ 終了 16:00
開催場所	茨木市男女共生センターローズ WAM5 階 501
会 長	山野 寿
出席者	〔協議会構成員〕 山野 寿 ((一社)茨木市観光協会 会長)(協議会会長) 木村 正文 (茨木商工会議所 専務理事)(協議会副会長) 岸田 茂樹 (茨木市 都市整備部 部長)(協議会副会長) 池田 伸 (立命館大学 経営学部 教授) 山本 博史 (追手門学院大学 地域創造学部 教授) (以上、計 5 名)
事務局	(一社)茨木市観光協会 鳥山事務局長 茨木商工会議所 中野課長 茨木市 商工労政課 徳永課長 茨木市 市街地新生課 福田課長、荒木グループ長、黒葛原氏、森氏
議題	1) 主たる事業の担い手について
配布資料	資料 1) 事業の担い手に関する各地の事例
議 題 の 経 過	
発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
(1) 開会 事務局 只今から茨木市中心市街地活性化協議会を開会する。 開会にあたり、山野会長からご挨拶を頂戴する。 山野会長 (あいさつ) 事務局 本日の出席状況をご報告させて頂く。委員総数 7 名のうち、5 名の委員にご出席頂いている。第 10 条第 4 項の規約により本会議は成立している。 また第 10 条第 3 項により、会長は山野会長であるが、進行は市に一任されている。 事務局 本日の議題は、 1) 主たる事業の担い手について 事務局 (主たる事業の担い手について説明) 事務局 説明に対する質問等はあるか。 山野会長 出資といっても配当が期待できるものではないため、市が気概を持って訴えかけないと賛同してくれる人は集まらないのではないか。 テナントの誘致にしても、市民のニーズに合わせた商売となると採算の面で苦しいこともある。その辺りは、新しいモデルを考えないといけない。もう少し具体的に事業を考える必要がある。 事務局 他市事例の決算規模はわかるか。社員の数や給与、収益等が知りたい。 事務局 決算は不明だが、社員に対して高額の給与を支払っているケースは少ない。機動力のある若い方を雇っている。 岸田副会長 他市事例の主な事業として挙げているもので設立時から想定していた事業はあるか。	

事務局 守山市のうの家・あまが池プラザや草津市のココリバ等は想定されていた。

岸田副会長 設立時に一定の収益を見込んでいたということか。

事務局 実際に見込んだ収益が出ているかはわからないが、設立時に一定の収益を想定した中で動かしている。

岸田副会長 守山市は公募で良い社員が入ったと聞いているがどのタイミングで入ったのか。

事務局 設立からしばらく経ってからで、認定のタイミングで入っている。

岸田副会長 その社員は1年間地元に入り込んで信頼関係を築き上げたと言っている。

木村副会長 茨木が弱いのは、設立時に収益が上がる基盤が薄いので、最初から社員を入れてというのはしんどいのではないかな。

事務局 初動期は市から支援をする必要がある。

事務局 この自治体も1期計画は行政が引っ張っている傾向にある。

木村副会長 それしかできないと思う。

山野会長 役員は無給だが、キーになる社員にはある程度の給与を払わないといけない。

木村副会長 専従の社員は生活もある。頑張れば給与も上がるようにした方が良い。

岸田副会長 最初は行政が引っ張りながら、実験的な取組も経て色々な形を見せていく必要がある。

木村副会長 まちづくり会社が軌道に乗れば、まちづくり会社に相談すれば上手にやってくれるというイメージを持ってもらえるようになる。

岸田副会長 グランドデザインや次なる茨木・クラウドなど市民や民間とも連携をしながら様々な取組が生まれることが望ましい。

山野会長 行政として市民や民間との協働を唱えるのであれば、貫徹した姿勢を見せてほしい。

木村副会長 市民や学生も自ら進んで汗をかくというのは少ない。

池田委員 学校側の支援があれば学生は進んで参加できる。スポーツやアルバイトといった名目もあればやりやすいのでは。

岸田副会長 他市ではどういったところが出資をしているか。

事務局 市・商工会議所・商店街・金融機関・交通事業者・民間企業などである。

山本委員 具体的な収益事業があると出資もしやすい。

事務局 まちづくり会社の実施する事業には経済産業省の補助が活用できる場合もあり、採算性は確保しやすい。

岸田副会長 収益の見込みが無いと出資してくれないのではないかな。

山野会長 もしくはまちづくりへの思いではないか。

事務局 配当があるものではないので、結局はまちづくりへの思いだと思える。

事務局 まちづくり会社が活動することでまちが元気になることで、それぞれの本業に繋がるというところに賛同していただきたい。

木村副会長 直接的に儲かる事業ではないが、まわりまわって自分の利益に繋がるということを良く理解してもらわないといけない。

事務局 今後、事業の具体化を進めて設立に向けて動いていく。

事務局 (今後のスケジュールについて報告)

事務局 委員の方々には長時間に渡り議事運営にご協力頂き、お礼申し上げます。

以上で、第9回茨木市中心市街地活性化協議会を閉会する。

(16時00分閉会)

